

# 「じんけんコンパス I」ガイド



## ○「じんけんコンパス I」データはこちら



【一括版】 <https://tochigi-educenter.box.com/s/55715j89x81898xym5bz1esgzh4elgcl>

【分割版】 <https://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/jinken/jinkencompass1.html>



## 作成のねらい

「じんけんコンパス I」は、作成した指導資料の活用を通じて、児童生徒に人権や人権問題について正しい理解を図ることを目的に、令和 6 (2024) 年度に実施した「人権教育推進状況調査」の結果及び近年の国や県の動向を踏まえ、令和 7 (2025) 年度に作成しました。



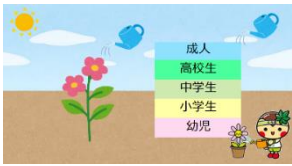
人権や人権教育について書いてあるまる。また、人権感覚の確認や授業で活用できる事例がたくさん紹介されているまる。



## 「じんけんコンパス I」の主な特徴

### 【次の発達段階につなげるポイント】

「小→中」「中→高」「高→成人」のつながりを意識した指導のポイントを示してあります。



**人権教育の目標を踏まえた次の発達段階につなげるポイント**

安全で安心な生活のために、インターネットの正しい使い方について考えるという活動をおして、生徒が「人権教育の視点」において述べた「相手の立場に立って心情を想像する」、「危険性や弊害があることを予測し、正しく使い方を身に付け、お互いの人権を守ろうとする」という実践力の向上を目指します。さらに、**高校生の目標につなげていくために**、「情報流通プラットフォーム対処法」の概要について紹介し、法によって人権が擁護されていることを知ると同時に、個別の人権課題に対する理解を一層深めます。

### 【特別支援教育の視点を踏まえた支援】

第 3・4 章の各事例展開部上段に「予想される配慮が必要な児童生徒の特性」を設定し、その児童生徒を中心に行う支援の具体を展開部右側に示してあります。

- 支援の例
  - 自分の考えを発表することが苦手な子
  - 意見の伝え方に選択肢を示す (ペア、グループ、メモ等)

展開	学習活動	指導上の留意点 ○ 人権教育上の配慮	資料・準備物
導入	1 事例 1 について考える。 2 学習課題を把握する。 インターネットの正しい使い方を考え、マイルールを決めよう。	・ 指導上の留意点 ○ 事例 1 の問題点を出し合い、インターネットの使い方について考える。 ◎ グループで話し合う時には、被害者の立場になって考え、安易な書き込みが相手を深く傷つけることを、自分事のように捉えさせる。(感受性)	《事例 1》  発着者：教材事典 2-1「SNS やブログなどのいじめ」P6 ・ 電子黒板 ・ ワークシート

このように特性のある児童生徒、いませんか？  
【人前で話すことへの不安から、自分の考えなどを発表することが難しい】

特別支援教育の視点を踏まえた支援

意見の伝え方に選択肢があると良いですね。

(例)  
 ・ ペアで話す→グループで話す  
 ・ メモで伝え合う

## 第1章 とちぎの人権教育（人権教育全般）



- 1 人権を取り巻く状況
- 2 本県の人権教育
- 3 本県の人権教育の推進
- 4 各校における人権教育の推進に向けて
- 5 本指導資料について



## 第2章 幼児教育における人権教育推進チェックリスト（学校教育）



- 1 こどもの人権を尊重した保育をめざして
- 2 人権が尊重された雰囲気や環境に関するチェックシート
- 3 豊かな人間性に関するチェックシート

◆チェックシートの見方

◆人権が尊重された雰囲気や環境に関すること（一人一人を大切にしたい雰囲気や環境づくり）

○保育者とこどもの関わりでの信頼を育み、安心感の基盤を築いていますか。

□こどもの多様な発達段階に気づき、適切な関わりをしていますか。

□関わり合いのこころや思いが実感できるような環境をつくる。友達をつなぐ。

□名前を呼ぶ。顔を認める動きを促していますか。

□「○○さん、おはよう。」「○○さんが来てくれてうれしい。」

□誰かをやめたり受けやスネンシップも種別を認め、こどもが安心して過ごせるよう促していますか。

□保育者のふれあいや手をつなぐ。寄り添う姿勢づくり。

□こどもの声を聴いた（聞き入れ）活動をしていますか。

□こどもの話を最後まで聞いていますか。他のこどもの発言などで聞かない場合は、どのくらい聞いてほしいかなどを具体的に促していますか。

□自己表現できる。受容的な雰囲気を作っていますか。

□「○○さんは、おもしろいね。」「○○さんは、どう思う？」

チェック数 /6

できている、心がけていると思うものの口にチェックを付けましょう。

チェックが付いた数を数えて記入しましょう。チェック数が多いほど人権を意識した関わりができています。

より具体的な場面をイメージしやすいコラムを設けました。コラムに示された保育者の関わりを参考に、自分がこの保育者の立場だったらどのように関わるかを考えるなどして、日常の保育のヒントとしていただければと思います。

コラム

絵の言葉に気づけよう。たぐひの書きまわしやこどもが描いた絵の言葉に気づけよう。たぐひの書きまわしやこどもが描いた絵の言葉に気づけよう。たぐひの書きまわしやこどもが描いた絵の言葉に気づけよう。

- 38 -

## 第3章 小学校・中学校・義務教育学校の指導事例（学校教育）



- 1 家庭での仕事の分担を考えよう【小5・家庭科】
- 2 「こどもの人権」について考えよう【小5・学級活動】
- 3 インターネットによる人権侵害について考えよう【中1・学級活動】
- 4 部落差別(同和問題)について考えよう【中3・社会科】
- 5 拉致問題について考えよう【中3・社会科】



## 第4章 高等学校・特別支援学校の指導事例（学校教育）



- 1 赤ちゃんとの生活から、男女の家事・育児の分担を考えよう【高・HR】
- 2 こどもの人権について学ぼう【特支(小)・学級活動】
- 3 部落差別(同和問題)への理解を深めよう【高・HR】
- 4 多様な性について考えよう【高・HR】



## 第5章 社会教育における学習プログラム（社会教育）



- 1 【説明】資料の特徴と学習プログラムの実施について
- 2 大人ができることって？～ネット社会に生きるこどもたちのために～
- 3 その言葉、本当に大丈夫？  
～女性が自分らしく活躍できる社会をめざして～
- 4 意識していますか？こどもの気持ち
- 5 部落差別(同和問題)と私たちの選択

